



平成 29 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 東京 會 館
代表者名 代表取締役社長 渡 辺 訓 章
(コード：9701、東証第二部)
問合せ先 経 理 部 長 蛭 原 望
(TEL. 03-3215-2111)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 11 日に公表しました平成 29 年 3 月期の通期個別業績予想を下記のとおり修正いたします。また、併せて特別損失の計上につきましてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	5,590	△1,360	△1,320	100	29.92
今回修正予想(B)	5,880	△1,090	△1,050	140	41.89
増減額(B-A)	290	270	270	40	
増減率(%)	5.2	-	-	40.0	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	5,995	△928	△884	159	47.59

※当社は、平成 28 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。
前期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

建替えのため休館中の本館および当事業年度に閉鎖した一部営業所のお客様を各営業所へ最大限誘致し、加えて経費管理の徹底が奏功したことなどにより、売上高・営業利益(損失)・経常利益(損失)は前回公表値から良化する見込みとなりました。このため当期純利益につきましても、下記の特別損失を計上するものの、前回公表値を上回る見込みとなりました。

2. 特別損失の計上

現在進行中の東京會館本館の建替え工事に併せて行った地下埋設物の解体及び撤去にかかる費用 126 百万円を、平成 29 年 3 月期個別決算において解体撤去費用として特別損失に計上いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上